



卒業、大太鼓に送られて

学校創立130周年となった綴子小学校の卒業式が3月16日、同校体育館で行われ、卒業生46名は、綴子大太鼓の音が鳴り響く中、恩師や在校生らに見守られ、学び舎を巣立ちました。

永井弘子校長は「今一人ひとりに手渡した卒業証書は、皆さんが6年間頑張ったことを証明する証。卒業しても、命を大切に人、努力を続ける人になってください。これからも持てる力を全て出し何事にも頑張ってください」と、はなむけの言葉を贈りました。

式典終了後、上町の保護者が直径2・61mの大太鼓を打ち鳴らし晴れの門出を祝いました。



子どもたちの安全を願って

明るい社会づくり運動東北ブロック協議会の和田健蔵鷹巣地区会長が3月15日役場を訪れ、今年小学校に入学する児童177名分の「黄色い帽子」を贈呈する目録を恵比原助役に手渡しました。

同会の「黄色い帽子」贈呈は、昭和54年から始められ、今年で26回目。

この「黄色い帽子」には、次代を担う子ども達を守り、健やかに開花できるように、子ども達の命を守る強い盾となること、ドライバーに安全運転を促すなどの願いが込められています。

恵比原助役は「大変ありがとうございます。事故の無いよう大事に使わせて頂きます」と感謝の言葉を述べました。



卒園式で大きな夢を発表

あいかわ保育園の卒園式が3月13日、同園で行われ、卒園生53人（男26人、女27人）一人ひとりに卒園証書が手渡されました。

安部綱江園長が「お友達や先生と遊んだことを忘れないでください。朝ご飯をしっかりと食べ、体を丈夫にして元気に小学校へ行ってください」とあいさつ。

そして、卒園児が一人ずつ「大きくなったら」と将来の夢を発表。「レスキュー隊になってこまっている人を助きたい」、「マリナーズに入ってイチローみたいになりたい」、「お化粧屋さんになって、いろいろな人にお化粧をしたい」など、大きな夢を元気に発表しました。



目で感じる楽しい食卓に

合川東地区児童クラブの押し花を使ったテーブルコーディネート実習が3月3日、小学生18人が参加して開かれ、色とりどりの押し花を使い、コースターやランチヨンマットを作りました。

講師の藤嶋泰子さん（鷹巣）が、「花びらが取れないよう、そととやさしく花を持ちましょう」とアドバイス。子どもたちは、思い思いのデザインで、個性豊かな作品を頑張って作りました。

完成した作品を見ながら子どもたちは「きれいなお花のランチヨンマットでご飯を食べるのが楽しみ」と、世界に一つだけのコースターやランチヨンマットをいつまでも見つめていました。



浜辺の歌音楽館がリニューアル

昭和63年のオープンから今年で16年目を迎えた浜辺の歌音楽館では、老朽化により度々故障のあった映像音響設備の改修を終え3月18日、リニューアルオープンイベントを行いました。

近藤町長と森吉町教育長などを歴任され、書道家として活躍されている赤石隆夫さんにより「浜辺の歌」歌詞の書を除幕、その後、後藤惣一郎名誉館長の指揮のもと、浜辺の歌少年少女合唱団らが「浜辺の歌」を合唱。また、最新の映像音響設備によるスライド上映も行われました。

近藤町長は、これを機会に「メモロディのまち」をさらにアピールし、地域の活性化につなげたいと述べました。



もうすぐ開花！松栄の桜まつさか

桜のトンネルで、ドライバーの目を楽しませている「松栄の桜並木」は、ゴールデンウィークに合わせるかのように満開を迎えます。

松栄は、かつて松並木が続いていたことからその名がつけられました。戦時中の物資不足により伐採され、地区の方々が樹齢300年といわれた松の代わりに、昭和27年ごろ100本以上のソメイヨシノを植樹し、桜の名所として知られるようになりました。

最近、枝落ちなどで交通に支障がでたこともあり、地元の松栄自治会が枝の剪定を行いました。今年は花数が少し減るかもしれませんが、薄紅色の花を一杯に咲かせてくれることでしょう。



町立として最後の卒業式

大阿仁小学校の卒業式が3月16日、同校体育館で行われ、卒業生一人ひとりの学校生活で頑張ったことが担任の先生から紹介され、原田校長から卒業証書が手渡されました。

また、運動会や学習発表会の楽しい思い出や、お世話になった家族、恩師への感謝の気持ち、在校生と呼びかけにより交わり、卒業の喜びと、別れの寂しさで泣き出す児童もいました。

今年の卒業生は阿仁中学校が33名、阿仁合小18名、大阿仁小12名です。

阿仁町立としては最後の卒業生となった63名は、恩師・在校生の祝福を受けながら、慣れ親しんだ学び舎に別れを告げました。



県スポーツ栄誉賞に加賀谷さん

平成16年度秋田県スポーツ賞の受賞式が3月3日、シャインプラザ平安閣秋田で行われ、阿仁町から栄誉賞に加賀谷昭一さん（水無）が受賞したほか、町出身の高橋大斗さん（土屋ホーム）が国際優秀賞、湊裕介さん（日大）、小林範仁さん（日大）が栄光賞を受賞しました。

栄誉賞を受賞した加賀谷さんは、35年間にわたって阿仁山岳会会長を務め、特に町のスポーツイベント「町民ハイキング」では企画運営並びに実地指導に率先して尽力したほか、長年の経験と知識を生かして森吉山の自然やマタギ文化の紹介に精励するなど、地域における体育スポーツ文化の振興に貢献したことが認められたものです。